特定非営利活動法人　日本地域福祉研究所　２０２０年度冬の公開研究セミナーのご案内

災害福祉支援のネットワーク構築

災害前・時・後のソーシャルワーク機能を考える

近年は，大地震や大水害など災害が多発し，日常化している事態が全国各地で見られます。災害における被災者支援は，発災前の防災計画や学習・訓練，発災時の医療・保健・福祉など多職種連携による被災者支援，発災後の生活復旧・再建や精神的支援など福祉の視点から災害全体を見渡した支援が求められます。しかし，市町村レベルで各フェーズに応じて地域生活を支援する専門職のネットワークやソーシャルワークの機能は開発途上にあります。

そこで，今回の公開セミナーでは，災害福祉支援に関わる専門職や関係者が，災害の前・時・後に関する各種取り組みを理解し，地域において生活支援に視点をあてたソーシャルワークをどのように展開するかを考えます。

1.　日　時　2020年12月19日（土）　１２時３０分開場　13時開会～17時30分閉会

・総合司会；　金井　敏（研究所理事、高崎健康福祉大学教授）

○　開会挨拶　大橋　謙策　（研究所理事長）　：13時

○　趣旨説明

第１部　学術研究報告　：13時1５分

社会的支援が必要な単身生活者支援に関する研究

中島　修　氏（文京学院大学　教授）

第２部　シンポジュウム　：14時00分

災害福祉支援のネットワーク構築～災害前・時・後のソーシャルワーク機能を考える

第１発題者　住民側から組織化する災害支援ネットワーク

山村　敏博　氏（富山市民生委員児童委員協議会会長）

第2発題者　多職種連携によるソーシャルワーク機能の発揮

浅沼　修　氏（岩手県保健福祉部地域福祉課生活福祉担当課長）

第3発題者　専門職や福祉団体による災害支援ネットワークの構築

鈴木　史郎　氏（全国社会福祉協議会法人振興部長）

コーディネーター　金井　敏（研究所理事、高崎健康福祉大学教授）

休　憩　：１5時30分

○　質疑応答・討論　：１5時45分

○　総括コメント　大橋　謙策（研究所理事長）　：１6時45分

○　閉会挨拶　宮城　孝（研究所副理事長）　：１7時25分

現在はコロナ禍の最中でもあり、例年閉会後に開いている懇親交流会は開催いたしませんので、ご承知おきください。

2.　**会　場**　大正大学　5号館　５５１教室

東京都豊島区西巣鴨3-20-1（都営三田線西巣鴨駅徒歩２分）

3.　**主　催**　特定非営利活動法人　日本地域福祉研究所

4.　**参加費**　正会員（所員）：3,000円　一般：3,500円

＊参加費は、当日、受付でお支払いください。領収書を差し上げます。

5.　**申込方法**　裏面の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、１２月１０日（木）までに研究所あてにFax、郵送、もしくはメールでお申し込みください。なお、コロナ禍のなかで過密になることを避けるため、教室定員の半数をめどに先着順に受け付けますので、お早めにお申し込みください。

6.　**定　員**　60名（先着順）

発題の趣旨　住民側から組織化する災害支援ネットワーク

山村 敏博 氏（富山市民生委員児童委員協議会会長）

災害時に避難が必要な要援護者に対して，地域の連携により適切な対応ができるよう仕組みを構築することが必要です。富山市民児協では，「災害時一人も見逃さない運動」の取り組み事例を把握して，民児協の規模別に要援護者名簿と地図づくりを行っています。地域団体・機関とのネットワークのあり方について発題をいただきます。

発題の趣旨　多職種連携によるソーシャルワーク機能の発揮

浅沼　修 氏（岩手県保健福祉部地域福祉課生活福祉担当課長・岩手県災害福祉広域支援推進機構構成団体委員）

災害時には日ごろの福祉ニーズに加えて地域生活ニーズが短時間かつ大量に表出します。こうしたニーズに対応するためには，専門職がそれぞれの特性を活かして相互に密接な連携を取りながら支援することが求められます。災害時福祉支援の標準化にいち早く取り組んだ岩手県の実践として，DWAT（災害派遣福祉チーム）の組織化，人材育成，被災地での生活支援情報の共有（共通アセスメントシートづくり）について発題をいただきます。

発題の趣旨　専門職や福祉団体による災害支援ネットワークの構築

鈴木史郎 氏（全国社会福祉協議会法人振興部長）

被災地域においてはフェーズごとに異なる要援護者の福祉ニーズを専門職等が的確に把握し，避難生活中の機能低下の防止や情報の共有，近隣関係の再構築など取り組みが求められますが，組織的・計画的な支援体制の確保のためには関係機関や団体，事業所が連携した災害福祉支援ネットワークを構築する必要があります。こうした取り組みの中核となる経営者協議会や職能団体，社会福祉協議会など役割について，全国的な体制づくりや国の動向，課題などを発題していただきます。

特定非営利活動法人　日本地域福祉研究所

2020 年度　冬の公開研究セミナー　参加申込書

ふりがな お名前		所　属	
所員・一般の別（○印をつけてください）		所　員　　　　一　般	
連絡先　自　宅 勤務先	〒		
電話		Fax	
E-mail			
今回の冬の公開研究セミナーをどこで知りましたか（○印をつけてください）	1　研究所ＨＰ　2　研究所ﾌｪｲｽﾌﾞｯｸ　3　送付された資料 4　福祉新聞　5　全社協ﾒｰﾙﾆｭｰｽ　6　都社協ﾒｰﾙﾆｭｰｽ 7　知人からの紹介　8その他（　　　　　　）		

なお、コロナ感染対策のために、マスクを着用のうえ、教室入り口で手指のアルコール消毒をしていただき、座席を一つ空けて着席をお願いいたします。また、当日に37.5 度以上の発熱のある方は参加をご遠慮ください。

会　場　案　内　（車でのご来場はご遠慮ください）

1. 都営地下鉄三田線・・・・西巣鴨駅下車　徒歩２分
2. JR 埼京線・・・・板橋駅東口下車　徒歩 10 分
3. 都電荒川線・・・庚申塚駅又は新庚申塚駅下車　徒歩７分

特定非営利活動法人　日本地域福祉研究所
〒162―0845　東京都新宿区市谷本村町３－２７　ロリエ市ヶ谷３階
TEL：03－5225－0237　FAX：03－5225－0238　E―mail：jicsw＠mx8.alpha-web.ne.jp